

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしくお願ひいたします。  
書肆心水 FAX 03-6677-0682

# 満洲問題・日露戦争・終戦講和

小村外交と国際政局 1901-1905

外務省編著（信夫淳平原著） A 5 上製 本体6900円+税

占領侵略、交渉決裂、開戦、戦局、講和。濃密な五年間

世紀をこえる権威主義ロシアの侵略と外交の手法

小村「貴下の言はあたかも戦勝国を代表する者の如くである（笑）」  
ウィッテ「ここには戦勝国なく、したがって戦敗国もない」。——敗戦を認めないロシアとの講和の経験。いかなる条件が揃ってそれは可能になったか。

日本の外務当局の立場と見解を克明に伝える第一級の外交歴史著述。多数の引用資料、旧時代式の表記を読みやすく調整した現代版。ロシアによる隣国への占領侵略から外交交渉決裂を経て戦争へ。ロシア連敗の戦局から講和会議開催への流れにおける各国の思惑と行動、その後のロシア反攻の強固な意志を見た各国の思惑と行動。——濃密な五年間の軌跡を、外相小村寿太郎の具体的折衝の詳細な記録が明かす。

外務省編『小村外交史 上下』（1953年）のうち、満洲問題と日露戦争に関する部分を抽出して構成。『小村外交史』は信夫淳平が大正時代に外務省の重要外交文書を用いて作成した稿本「侯爵小村寿太郎伝」を戦後外務省が改訂増補して刊行したもの。

信夫淳平（しのぶ・じゅんぺい／1871-1962）外交官、国際法学者。法学博士。早稲田大学教授。復刻版『不戦条約論』『大正日本外交史』『明治二大外交 日英同盟と日露戦争』（いずれも書肆心水刊）。

■目次■

- 桂内閣の成立
- 満洲問題の前半
- 日英協約の締結
- 満洲問題の後半及び日露の開戦
- 戦時外交
- ポーツマス講和会議
- 索引

新刊  
注文扱返条付  
清藤

番線等	部	<b>満洲問題・日露戦争・終戦交渉</b> 小村外交と国際政局 1901-1905 外務省編著（信夫淳平原著） ISBN978-4-910213-39-2 C0020 A 5 上製 320 頁 本体 6900 円+税	五月末刊行
		FAX 03-6677-0682 でんわ 03-6677-0101 http://www.shoshi-shinsui.com	書肆心水 Shoshi Shinsui

ご注文は JRC へ 03-3294-2177

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。（了解者 JRC 宮尾）